



三珠中学校校長室だより
令和7年12月12日発行
No.35
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



リニューアル後1週間を振り返って

家庭学習をリニューアルして1週間が経過しました。今号ではこの1週間の家庭学習を振り返ってみたいと思います。▼前号でお伝えした通り、今回の家庭学習のリニューアルの目的は『やりがいのある家庭学習を目指すこと』です。そしてもうひとつ、『やりっ放しで答合わせもしてない問題集』のような『仕方なくやっている家庭学習』ではなく、『どうせやるのなら、やって良かったと思える家庭学習』をしてほしいという思いから、新たな提案をしたのでした。以下の表は、リニューアル1週目の各学年のコース別の人数です。

学年	A	B	C	D
1	1	3	6	5
2	0	3	4	16
3	0	0	2	11
計	1	6	12	32

ご覧の通り、最も多かったのが『これまで通りの家庭学習』に通ずる『Dコース』でした。もちろんもともとの家庭学習が充実していればまったく問題のないことなのですが、残念ながら実際はそうとも言えない人が見られます。3年生のDコースを選んでいる人の学習の内容について、担任の先生に様子を聞いたところ、『提出している人の約半数は目的をもち、熱の入った良い学習ができているのに対し、そうは思えない学習をしている人もいる。』という感想を話してくれました。『今、本気でやらなくていつするのか？』『何をして良いか困っているなら、今まで通りを一度見直してみても……』と老婆心ながら心配になります……。▼次のデータ

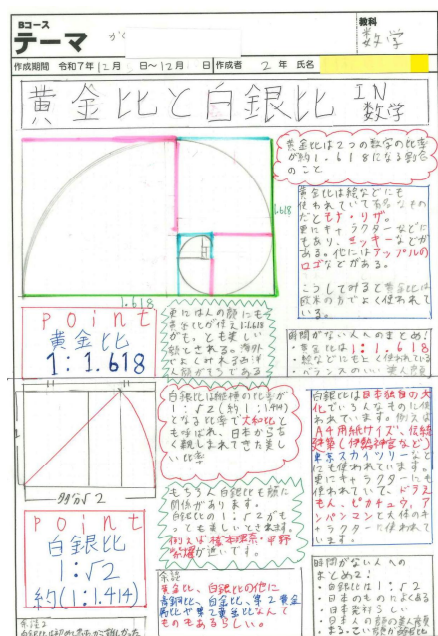
学年	割合	1日あたり
1	2.6%	0.4人
2	17.4%	4.0人
3	24.6%	3.2人
計	14.9%	7.6人

は各学年ごとの家庭学習提出時にミッションをクリアできなかった人の割合です。1年生ほぼ全員ができていているのに対して、学年が上がるにつれてその日に決められたことができない人の割合が上がっていています……。これはとても残念な結果と言えましょう……。そしてもう1つ、右上

のデータは各学年がこの1週間で貯めたレクタイムです。3年生は前述した通り、その日にやるべきことができていない人の割合が高く、ほぼ同じ人数の1年生の約40%程しか貯まっています。また、人数の一番多い2年生が伸び悩んでいるのは、やるべきことができなかった人の割合が高かったのに加えて申告用紙さえ出せなかった人(マイナス5秒)が延べ6人もいたからです。▼と、ここまでの内容を読むと、何とも寂しい気持ちになる家庭学習のリニューアルですが、嬉しいこともありました。

それは右の様なレポートが数本提出されたことです。▼右のレポートはBコース数学を選んだ2年生のものです。『黄金比と白銀比』についてまとめたものです。このレポートの素晴らしいところは、これを読んでくれる人の目線に立

学年	レクタイム	1人あたり
1	167秒	11.1秒
2	106秒	4.6秒
3	64秒	4.9秒
計	337秒	6.6秒



るところです。ポイントとなる部分が図や色ペンを使って分かりやすくかかれているのに加えて、どんどこに黄金比や白銀比が使われているのかを身近な例を出して紹介してくれています。しかも「橋本環奈・平野紫耀」という中学生の心を動かしそうな名前まで出てきます。このレポート作成者が楽しみながら作成していたとしたらこんなに嬉しいことはありません。自分のためになる家庭学習を目指していきましょう。

コース	コース名	内 容	家庭学習の提出
A	ふるさと探求コース	三珠・市川三郷町・山梨県に関わることで何か調べてみたいことを1つ見つけて、それについての成果物(別紙参照)を1枚作る。	1週間以内に1枚の成果物を提出する(校内掲示する)。
B	教科探求コース	教科(国・社・数・英・理・音・保体・美・技家・道・総)に関わることで何か調べてみたいことを1つ見つけて、成果物1枚作成。	1週間以内に1枚の成果物を提出する(校内掲示する)。
C	基礎徹底コース	国・社・数・理・英の各教科ごと週のテーマが決めるので、その中から1つの教科を選び、テーマに沿った学習を行う。	教科で与えられたプリントを毎日提出する。
D	自主自律コース	自分で1週間のテーマを決め、そのテーマに沿って、自分でやる内容を決める。『とにかく、この1週間は●●●を頑張りたい!』という人におすすめ。学習量は1日30分以上。	学習した内容を毎日提出する。